



一般社団法人 UNIVA 理事
野口 晃菜 氏

今年度、国連より「障害者権利条約」の審査がなされ、インクルーシブ教育をより推進するべきと厳しい勧告が日本政府に出された。従来障害のある子どもは別の場で別の内容を学ぶことを前提に学校はつくられてきたが、今後は通常の教育そのものを多様なマイノリティ性のある子どもがいることを前提に再検討していく必要がある。障害のある子どもはもちろん、不登校状態の子ど

も、外国にルーツのある子ども、性的マイノリティの子どもなどが含まれる。

戸田市では、個別最適な学び、学校規模で取り組むポジティブ行動支援（スクールワイドP B S）、定量的・定性的なデータを基に通常の学級における授業や支援を定期的にチームで見直すResponse to intervention (RTI) システムの導入など、「通常」と「特別」を分けるのではなく、通常の教育そのものを多様な子どもがいることを前提としたものに変えていくための実践や仕組みが生まれつつある。戸田市には確実に日本において最先端のインクルーシブ教育実践が生まれる土壤があり、今後のさらなる発展を期待したい。



堺みくに法律事務所 弁護士
小美野 達之 氏

令和2年度より戸田市教育委員会ロイヤー（教育行政・学校経営担当）として、市立小中学校での研修、学校や教育委員会が抱える法的な問題についての相談、助言等を行っている。

もちろん、法的な規範は、最終的には裁判所での評価規範となるし、公務員である教職員にとっての行為規範ともなり、学校や教職員にも法的思考が必要であることには疑いがない。しかし、

法令さえ守れば教育ができるという訳ではなく、多くの場合には、法令は特定の行為を行うことを命じてはおらず、法令による裁量の範囲内でどのような教育活動を行うのかの判断は教育の専門性に委ねられている。

この3年間で、市立小中学校での研修は全学校で最低1回を行うことができ、学校や教育委員会からの相談での質問のレベルも上がってきて、戸田市の学校や教職員は法的な勘所が分かるようになってきたのではないかと感じている。今後は、法的に危ないところを見極めたうえで、積極的に新しい教育活動、面白い教育活動に取り組んで、「教育的成果の妥協なき追求」を行っていただきたいと思う。



認定NPO 法人カタリバ 代表理事
今村 久美 氏

令和3年度の文科省調査結果によれば、不登校は前年度から5万人弱増加するとともに、9年連続で増加し過去最高となっている。このような中で、認定NPO法人カタリバにおいては令和3年度より、シェア型オンライン教育支援センター「room-K」の運用を開始し、家から出ることが難しいお子さんに、大人が1対1で伴走しながら、個別の支援計画をもとにメタバース空間上で

のカウンセリングや学習プログラムを提供している。

昨年7月に、戸田市教育委員会と連携協定を締結して以降、自治体やメディアから多数お問い合わせをいただき、社会的にもroom-Kに対する注目が高まったと感じている。また、戸田市教育委員会の不登校施策である「多様な学びの場」の中で、room-Kを公式に位置付けていただいたことは大変有り難い。他方で、そのような場が出来たから全てが解決する訳ではなく、まずはroom-Kで社会的な繋がりを創りながら、どのようにしてリアルの場と接続していくかについても、パートナーとして一緒に事例を創出していきたい。



文部科学省初等中等教育局
初等中等教育企画課教育制度改革室長
前田 幸宣 氏

急激に変化する時代の中で、全ての子供たちの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現が求められている。

子供たちに対し、同等同質であることを求めるのではなく、それぞれの特性や関心等に応じた学びの実現や、多様性と包摂性を両立した学校文化の醸成などが求められる。

そのためには、教師が、子供たち一人一人を自立した学び手として捉えるとともに、子供たち自身が学びの見通しを持ち、学びの方法や進度を選択し、自己の学習の振り返りを行うことや、それを他者と共有することで、互いに成長する機会を有することが必要である。また、従来の一斉指導を維持するための学習規律の概念から、子供たちに学びを委ね、教師はファシリテーターとしての役割を果たす学びの実現に必要となる学習規律の概念へと発展させることが重要である。

戸田市で実践されているICTの文具的な活用や、PBLの取組は、今求められる変革に的確に対応しているものと捉えることができるだろう。今後の取組の発展に大いに期待したい。

令和4年度 戸田市教育研究集録

●発行日：令和5年3月31日 ●編集発行：戸田市教育委員会 ☎ 335-8588 戸田市上戸田1-18-1



▼戸田市教育委員会公式 Facebook
<https://www.facebook.com/todaedu>

